



飼料自給・最前線

【発行日】 2008年3月1日発行

【監 修】 名久井 忠

【判型/頁数】 B5 243ページ

【目次】

第1章 なぜ今、飼料自給なのか

自給飼料生産に及ぼす地球温暖化の影響
地球環境影響から見た飼料自給の有利性と意義
日本酪農における自給飼料生産の新たな試み
水田の有効活用による自給飼料生産拡大の可能性
畜産飼料政策の課題と今後の方向

第2章 飼料作物の品種開発と栽培の最前線

子実多収・高TDNTウモロコシ品種の開発
高糖含量牧草品種の開発
超多収飼料イネの品種と低コスト栽培
水田裏作用牧草の品種開発と栽培
トウモロコシの低コスト不耕起栽培
転作田を活用した耐湿性作物の栽培
飼料用ムギ類の多収栽培技術

第3章 自給飼料の収穫・調製技術の最前線

大型バンカーサイロによるサイレージの大量調製技術
牧草・トウモロコシのロールベールサイレージの効率的な収穫・調製技術
飼料イネサイレージの収穫・調製技術
副産物の飼料化と調製技術
飼料のカビ毒汚染と予防対策

第4章 自給飼料多給による乳牛飼養の最前線

自給飼料を上手に使った3カ月齢までの子牛の育て方
泌乳牛に対する自給飼料給与の効果と留意点
飼料イネ給与の効果と留意点
集約放牧の効果と留意点
副産物給与による乳牛の飼養効果

第5章 自給飼料の上手な活用例

北海道における自給飼料を活用した大規模酪農経営
マメ科牧草を導入した酪農経営
本州における自給飼料を活用した酪農経営
九州における飼料イネを活用した酪農経営